

## 助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 サイコロネット

代表者・役職名 氏名 佐々木 均

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

無料メールカウンセリングによる心の悩みを抱える人の援助

## 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

サイコロネットは、カウンセリングを勉強している人たちが、その勉強の成果を活かして、悩んでいる人たちや問題を抱える人たちの援助をおこなうために2001年に任意団体として設立。活動実績を踏まえて2008年2月NPO法人登録。会員数35名。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

深い悩みや問題を抱える人に対する援助は、カウンセリングが最も効果的な方法だと考えられますが、カウンセリングを受けたくても受けることができずにいる人たちが多く存在しています。これらの人を援助するため、電子メールによるカウンセリングが求められています。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

心の悩み相談を電子メールによって受け付け、カウンセラーが無料で回答をおこなう。必要に応じて、継続してのメールカウンセリング、面接のカウンセリング、病院の紹介など、相談者の状況に応じた援助を行います。今後も安定的にその援助がおこなえるよう、システムを強化し、カウンセラーを養成します。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

無料メール相談336件を受け付け、回答しました。相談者は若い女性が多く、中高生、大学生が多く含まれます。人間関係や心の病気に関する内容が多く、アドバイスすることにより問題解決の糸口になれたと思います。また、カウンセリング学習会を8回実施し、延べ54名の参加がありました。回答者のレベルアップ及び、一般へのカウンセリングへの理解を深める役に立てたと思います。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

メールカウンセリング、メールによる相談は、若い人を中心にして、今後ますます必要性が高まっていくと思われます。しかしながら、メールカウンセラーについては、面接のカウンセリングができる力と文章で表現する力が必要になるために、実際に回答者として活動できる人が限られています。力のあるメールカウンセラーの養成が今後の課題となります。

## 7. 参考資料

カウンセリング学習会の写真

参考資料あり

